

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	山口大学産科婦人科における腹腔鏡下手術の治療成績			
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 から 2024年3月31日			
③ 対象患者	④の対象期間中に山口大学産科婦人科で腹腔鏡による手術を受けられた患者さん			
④ 対象期間	2000年1月1日 から 2018年10月31日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	産科婦人科			
⑦ 研究責任者	氏名	末岡幸太郎	所属	総合周産期母子医療センター
⑧ 使用する情報等	年齢、既往症、術前画像検査、腫瘍マーカー、術前診断、手術適応、手術術式、術後病理診断、術後進行期、手術合併症、生命予後			
⑨ 研究の概要	近年急速に広まった産婦人科腹腔鏡下手術ですが、子宮悪性疾患においては開腹手術に比して予後の低下が示されたり、子宮良性疾患においても手術器具に対する安全性が疑問視される事態が起きました。さらに肝臓外科領域ではある施設で死亡例が多発し社会問題となりました。この様に産婦人科腹腔鏡下手術はまだまだ発展途上の手技であるといわざるを得ない状況です。そこで山口大学産婦人科のこれまでの腹腔鏡下手術症例を振り返り、手術の妥当性や安全性や生命予後などを評価する必要があると考えました。そのため⑧に記載した情報等をもとに山口大学産科婦人科での過去の腹腔鏡下手術症例について、適応、術式、合併症、予後等を後方視的に検討することで今後の治療をより適切に行うための問題点を探索します。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年 2月 21日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部産科婦人科講座の奨学寄附金			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 産科婦人科 担当者：末岡幸太郎			
	電話	0836-22-2289	FAX	0836-22-2287